

(長岡京市) 自分ごと化会議 in 長岡京 第1回議事メモ

分科会	第1分科会(環境保全)
コーディネーター	伊藤 伸
ナビゲーター	なし
説明担当者(自治体)	なし
日時	2020年12月12日(土) 14時15分から16時
場所	長岡京市中央生涯学習センター3階 特別展示室
その他	参加者数 <u>17名</u> 欠席者数 <u>10名</u>

趣旨・概要

- 自己紹介(地域・氏名、長岡京市に住んでいる期間、自治会やコミュニティとの関わり、ゴミ、公園美化、環境に関して一言)
- テーマ(環境保全)について
- 会長・副会長の選出

総括

コーディネーター総括

- 普段の参加者は無作為で抽出された方ばかりだが、自治会長や民生委員や青少年協議会が入り、強い思いをもって、それぞれが地域を良くしようとしている。今日はそれぞれのギャップが明確になったので、今後これを埋めていき、共有・連携を図り、一丸となって地域のことを考えていきたい。

主な論点

論点① 自己紹介で出ていたキーワード

- ・公園の問題(小さな公園が多い、公園の活用について)。
- ・ごみ収集の問題。
(自治会や地域コミュニティの負担について。管理に地域によって差がある)
→次回以降具体的に課題を洗い出す作業を行っていく。

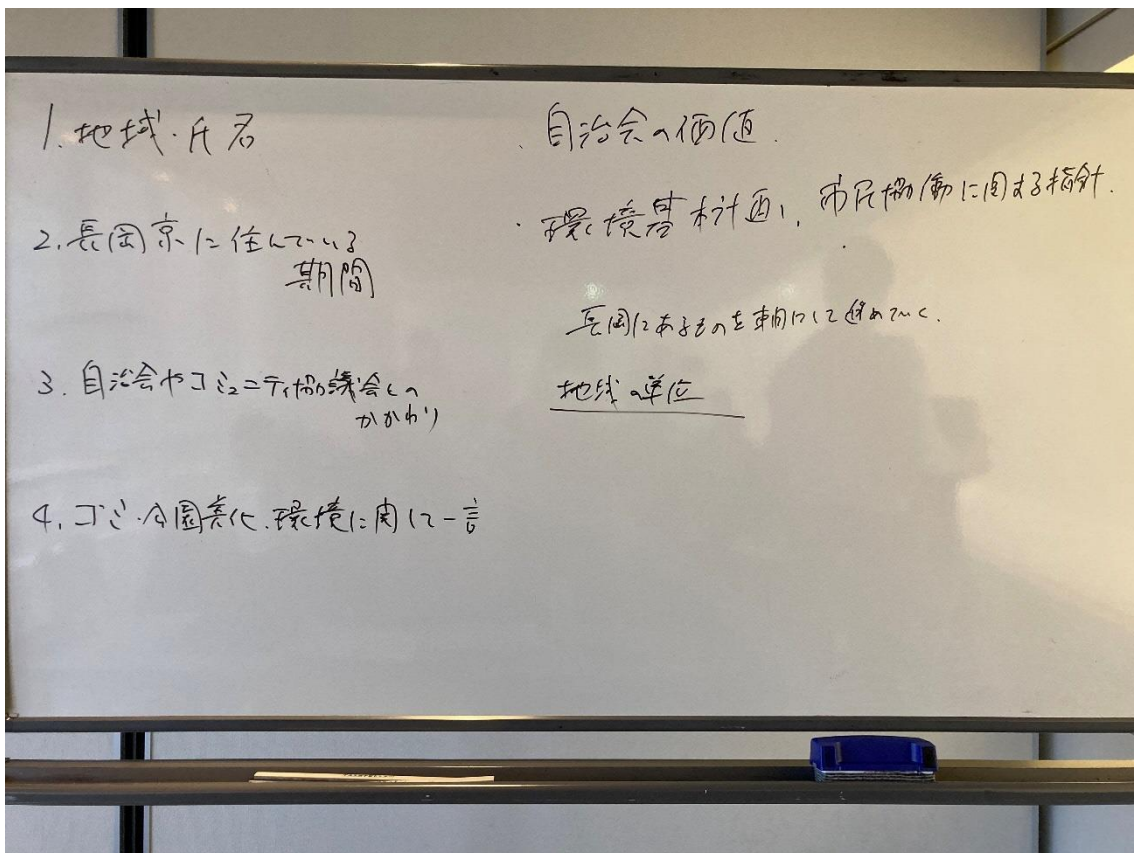
論点② 条例の方向性

- ・市の最高規範を作るわけではない。
- ・市と市民がどのように協働していくのかを明確にする。

メ):分科会メンバー、コ):コーディネーター、P):市PT、市):説明担当者

- ・ 条例を作ることだけが目的（最終ゴール）ではない。
⇒ 考える切り口として4つのテーマに分かれて議論をする。
- ・ 分科会で考える環境問題の規模について。
環境問題の根底を掘っていくと地球規模の問題になってしまう。
→ この分科会ではあくまでも地域の問題を考える場。
→ ○○地区の課題、といったように具体的な地域を限定するのではなく、市全体の課題について考えていく。

ホワイトボードの写真



協議の流れ

コ) 今日はまず自己紹介をして、今感じていることを話してもらえればと思う。先に私から。地元は北海道で、大学(同志社大学)で京都へ来た。北海道の人口7千人ほどの田舎出身。選挙や政治に興味があり、ボランティアをしており、その時から中小路市長とは一緒に活動していた。年齢は上だが喧嘩もしながら色々な話をした。内閣府の政策参与として毎日働いている。河野太郎のサポート役。行政改革・規制改革が役割。1年間に自治会の仕事を5~60か所くらいでしている。年間宿泊数が110

メ) : 分科会メンバー、コ) : コーディネーター、P) : 市PT、市) : 説明担当者

泊くらい。皆様のご意見を国に繋げていきたい。

自己紹介

テーマについて

- コ) 皆さんの話を聞いていて、まずごみの管理の仕方が地域によって全然違うという話があった。地域によっては自治会長に負担がかかっている。今後の議論のポイントになってくると思う。あとは小さな公園が活用されていないという課題も出た。何人かの方から条例の方向性についての話があり、そのなかで市民憲章のことをおっしゃられた方がいた。長岡京市の市民憲章は昭和52年に作られている。スローガンのような位置づけだと思う。今回の条例は、自治基本条例のような最高規範を目指しているわけではない。市と、市民がどのように協働していくのか。行政の立場と皆さんの立場の乖離を埋めていくことが目的。条例は一つの象徴で、条例ではない形がふさわしいという結論になってもいいと考えている。ただ抽象的な話にならないよう、4つのテーマを設定し、話し合っていたいく。
- メ) 地域の定義が難しい。自治会に入っているのはいざという時のため。そのための絆作りとして日々の行事がある。地域や住民一人ひとりの役割がまだもやもやとしている。
- コ) それが見えてくるだけでも意味がある。ごみの問題でも、すぐに市役所に電話をしている地域もあるだろうし、自治会長の顔が知られているところは自治会長に連絡がいくことで、会長に負担がかかっているのかもしれない。1つの解が出るかは分からないが、会長をサポートすることはできないか、行政がやるべきことがあるのではないかと、という話し合いをしたい。
- メ) 長岡京市は環境計画を策定している。行政としてこうあるべきだという方向性は出されている。それを受けて我々はどうするのかということを議論するべき。皆さん知らないようなので次回配ってもらえるか。
- P) 環境基本計画のことかと思う。その資料が役に立つかを含めて、ファシリテーターと相談したい。
- コ) それもお配りしつつ、長岡京市では市民協働の指針も作られている。それも次回の会議でお見せして、市としての考え方を提示する。ただ皆さんからもっと変えたほうがいいんじゃないかという話は出てくると思う。
- メ) 長岡京市にあるものをどうしていくのかを考えていくのが本来の目的。温暖化の進行などは長岡京市だけでなく世界の問題。大きい問題ではなく、長岡京市にあるものをどう保全していけばいいのかを議論するべき。
- メ) 10年前に大阪の茨木から引っ越してきた。とてもいいまちだと思った。古いものがいっぱい残っている。それを大切にしたい。
- メ) 小さい公園ができたのは条例のせい。2千平米までの開発は小さい公園でいいとし

メ)：分科会メンバー、コ)：コーディネーター、P)：市PT、市)：説明担当者

てしまったから。

- コ) おっしゃるように長岡京にあるものが議論の軸になる。
- メ) 長岡京の池の水がどんな色かわかるか？冬は粘土色になる。ヨシを植えるか水草を利用することで水をきれいにするとか、そういった具体的な話をするのであれば値打ちがある。どうかたちで進んでいくのか。条文で縛るのであればあまり値打ちがない。話をするのであれば長岡京を歩いて見て回るべき。
- コ) 環境に関する条例を作ることが目的ではないが、条例の内容には盛り込まれなくても、この場に出た意見が市の取組に反映されるものもある。
- メ) 他府県の条例はどういうものがあるのか。ゴールのイメージを持ちたい。
- コ) 次回、市民協働の指針を少し紹介し、他自治体の例も紹介して、イメージを持ってもらいたいと思う。
- メ) 住んでよかったと思える単位を絞らないと。小さな身近なところで住みやすさ魅力づくりがあって、それが広がっていく。
- コ) 地域の単位をどう捉えるかについては人によって差があると思う。ただ住んでよかったと思えるような改善点に結び付けていきたい。
- メ) 長く住まれている方、役員をされている方がたくさん問題点を出されているが、身近なところで環境保全の問題をグループワークで出していき、優先順位をつけてまとめていくわけではないのか？ワークショップをするのであれば、組織に所属しているとか、役員を何年やっているとかはいつでもよくて、個々人が抱えている問題点や意見をふんだんに出していけるように進めてほしい。
- コ) 次回からおっしゃるようなやり方で進めていく。
- メ) 今の言い方は引かかる。あなたの住んでいるところに自治会はあるのか？
- メ) ある。
- メ) その自治会はどんな活動をしているのか。
- メ) 自治会の話をしているわけではない。自治会はそれぞれで特徴があるのだから、それをどうこう言うのではなくて、比較するのではなくて、この分科会では環境保全というテーマでワークショップをするのだから、どこの自治会に入っているとかはどうでもいい。
- メ) どうでもいいことはない。全然わかってない。
- コ) 特定の自治会活動をよくするためにどうするかという話は当然しない。ただ皆さんが普段地域をよくするために活動していることについては積極的に話していただきたい。逆に無作為で選ばれた、もともと活動をされていない方の意見も出してほしい。自治会やコミュニティに限らず、どうしたらよくなるかの話をしていただきたい。
- メ) 自治会長をやられている方は、皆さんのことを一生懸命考えている人たち。ディスカッションのなかで、これをしゃべってはいけないということになると、もうこれはディスカッションではない。好きなことをしゃべるのがディスカッションの特徴。

メ)：分科会メンバー、コ)：コーディネーター、P)：市PT、市)：説明担当者

ある方向に最初から持っていかうとするのはディスカッションではない。

- コ) お二人の話していることにあまり違いはないと思う。この会議において、何かを言っ
てはいけないというルールはない。また特定の地域や自治会をどうするか話し合
うのが目的でもない。環境保全を切り口にして、市として、地域としてどうしてい
くかを考えていきたい。
- メ) 自治会に入らないのは、地域に対する価値観が変化しているからだと思う。最近の
方が何を求めているのかが分からない。
- メ) そのために若い方がいる。若い人たちが地域や自治会にどういったイメージを持っ
ているのかが大事。そういったものを吸収していけば解決策が見えてくると思う。
- コ) 全国的に自治会の加入率は低下している。加入者が減るほど役員の負担は増える。
- メ) 私の地区では、ごみは仕事が忙しくて遅くても、自分で区別して捨てられる。
- コ) 転入したときに、自治会に自動入会にして、退会するには自治会長に連絡しなけれ
ばならない、としている自治体もある。加入率が99%。よし悪しはある。加入率
は30%だが、趣味のコミュニティがどれだけあるかを行政が調べているところも
ある。コミュニティの必要性は何かあったときにお互いをサポートできること。地
域のコミュニティだけでなく、違うコミュニティでできることがないかを模索して
いる。そういった話も意見交換できれば。
最後にアンケートと改善提案シートを書けるところまで書いていただきたい。

会長・副会長の選出

- コ) 全体会で発表していただく会長と副会長を決めないといけない。
- メ) 順番にやったらどうか。
- コ) ではこの班については、その都度決めていきたいと思う。

次回の分科会に向けた準備

次回の分科会の目標

- 1班は議論のベースに常に自治会とか市民協働の話を置きつつ、第2回はゴミの話を中心にする。また、第3回は、小さい公園があっても使われない、管理もできてないから見直した方がいいのではないかという話が多く出ていたため、小規模公園の話を中心にする。
- 冒頭で、市民協働指針の内容とそれに関連する市の現行事業を事務局から説明し、議論のベースに自治会や市民協働の話をふまえつつ、第2回はゴミの話を中心にする。次回に入ってもらう市の担当課だが、ゴミの話が割合多くでた。PTで入ってもらっている職員は環境政策課なので、一般的な話は職員からしていただきたい。そして、ごみステーションの担当から現状の話をしてもらいたい。

メ)：分科会メンバー、コ)：コーディネーター、P)：市PT、市)：説明担当者

次回の分科会に向け準備する資料等

- 上記内容に沿った資料を作成のうえ配布。

備考 (その他、記録すべき事項を適宜追加)